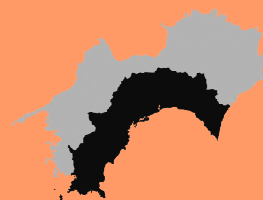




**どっぶり高知旅**  
SUPER LOCAL KOCHI



**県内向けコンセプトブック**

Ver.1.0

— すべての方々が主人公 —

**どっぶり高知旅キャンペーン**

令和6年4月1日—令和10年3月31日

# どっぶり高知旅キャンペーンの基本的な考え方

- 私たちの住む高知県には、四万十川や日曜市に代表されるように、人々の暮らしと調和しながら守られてきた自然環境や伝統文化があります。
- これらの資源は、私たち県民が先祖代々大切に守りついできたものであり、県民の誇り、大切な財産でもあります。
- ややもすれば経済的価値が重視されがちな世の中で、人々が見失いかけている大事な価値が、私たちの住む高知県にはあふれています。
- こうした高知県ならではの資源は県外の方々にとって、きっと魅力的に感じていただけるものだと思います。
- 観光客に高知県に愛着を感じていただき、地域の大切な資源が将来に向けて守られ、受け継がれていく。
- どっぶり高知旅キャンペーンでは、そんな観光地を目指していきます。

# 県外の方に体験いただきたい高知の魅力

- ☆ 目標に追われたり、効率を重視するあまり時間を極端に気にするせかせかした日常。刺激が強すぎて、周りを見渡したり、自分を見つめ直す余裕の少ない時代ではないでしょうか。
- ☆ そう考えるとき、「**田舎**」には**大きな強み**があると思います。  
風やにおい、日差しなどを五感で感じる時間や、人との向き合い方やつながり。  
言わば地に足をつけた生き方や体験が田舎にはふんだんにあるからです。
- ☆ そうした田舎の中でも、  
日本一の森林率や清流などの山、川、海などの「**自然**」。  
カツオやゆず、野菜をはじめとした「**食**」。  
そして、おきゃくや土佐弁といった「**文化**」や坂本龍馬などの「**歴史**」。  
さらには、それらを生み出す高知の「**人**」や「**コミュニケーション**」などなど。  
高知はそれらの魅力にあふれた「**スーパーローカル**」とも言える**極上の田舎**だと考えます。
- ☆ 高知で「**ど級**」の**極上田舎だからこそできる体験**を、  
**深く、じっくり、たっぷり（＝「どっぷり」）と味わっていただき、**  
**日常を忘れる、心からの息抜きをする、新しい発見や気づきを得る、**  
そんな一生ものの最高の旅をこのキャンペーンでは提供します。
- ☆ **地元ならではの魅力ある素材を再発見したり、新たに発見して、未来に向けて大事にしていく。**  
地元では気づかない視点を観光客の皆さんからもいただきながら、そんな展開をしていきたいと考えています。

# 対象となるコンテンツの要素

ど級の極上田舎の

自然  
食  
歴史・文化



どっぷり  
体験



コンテンツ  
(観光商品)

海、山、川、そして青い空などの自然、カツオや野菜などの食、坂本龍馬をはじめとした歴史、暑苦しいほどあたたかとも言われる人、おきゃくなどの文化、街路市、土佐弁などなど、高知ならではの、スーパーローカルとも言えるど級の魅力

魅力をじっくりと、深く、たっぷりと味わっていただく次のような体験

- ① 日常生活を忘れる (OFFとなる)
- ② 心からの息抜き
- ③ 新しい発見や気づき

# どっぷり高知旅キャンペーン ポスターコピー

これまでの考え方を、県外の方に伝えるポスターの中でのコピーとして表現したのがこちらです。



## どっぷりど級の極上田舎へ SUPER LOCAL KOCHI

有名観光地をあっさり巡る。  
それだけじゃ、もったいない。

見たことのない、ど絶景。  
食べたことのない、ど名産。  
聞いたことのない、ど歴史。  
家族のように距離が近い人たちの、  
時には暑苦しいほどの、ど親切。

ど級に濃厚な高知の魅力に、  
気がつけばハマっているはず。

忙しい日常からちょっと離れて、  
どっぷり旅してみませんか。

## どっぷり高知旅キャンペーン

令和6年4月1日～令和10年3月31日

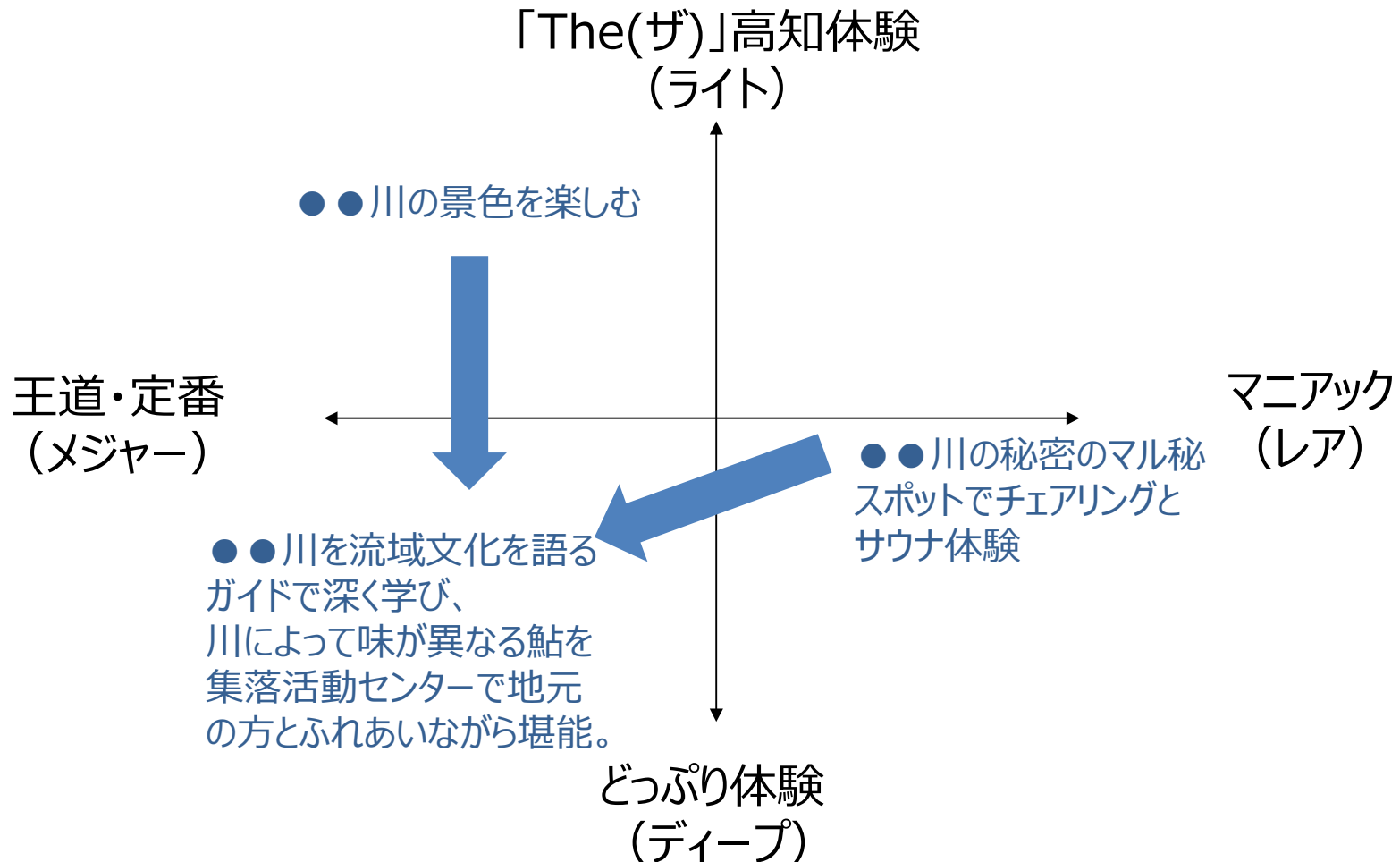
# どっぷり高知旅キャンペーン ポスター

「極上田舎の食、自然、歴史・文化」を、「どっぷり体験」いただくのが本キャンペーンですが、それらの言わば「ど級」の魅力を「ど〇〇」という形で表したのがこちらのポスターです。



# コンテンツのイメージ

- 「**日常の生活を忘れる**」、「**心からの息抜きをする**」、「**新しい発見や気づきを得る**」ことにつながる要素が強いほど、**どっぷり度合いが強い**(よりディープな(深い))コンテンツだと考えます。
- どっぷりコンテンツは決してレアな(珍しい)ものだけではないこと、そして青色の矢印のように、よりどっぷり体験化する工夫(アクション)があると考えています。



# コンテンツの考え方の留意点

☆このキャンペーンでは、**どっぷり度合いが強いものだけをキャンペーンの対象とするものではありません。**

☆例えば日本一の水質を誇る清流「仁淀川」

- 仁淀川を沈下橋などから眺めて、すぐに帰られる人も多くいらっしゃいます。言ってみれば、それは高知観光の王道の名所での「The(ザ)仁淀川の観光であり、入り口の観光、言い換えればライトな観光です。
- そして、仁淀川にはもっとディープな過ごし方があります。例えばSUPでのクルーズで普段入れないところに入り、水面近くで表情を変える仁淀ブルーを楽しみ、流れに身を任せながら鳥の声に耳を澄ませるといった形での堪能。さらには、清流ならではのツガニや川の環境によって風味が異なる鮎を、流域の水が生み出す日本酒と合わせて楽しむといった形で堪能するなど。

☆こうした形で、**ライトな「The(ザ)高知観光」も「どっぷり高知観光」の入り口であり、キャンペーンの大事な対象**です。

そして、できればそうした入り口の方に、よりディープな過ごし方を準備したり提案したりするなど、観光客の方が**もっとじっくり・長く過ごしてみようと思ったり、また来たいと思っただくよう体験を提供することが大切**だと考えています。



# 観光客の方々との関係性のイメージ

- **どっぷり体験を通して**、観光客の方々と高知との関係性がより高まり、**滞在日数の増や**  
**ヘビーリピーター化**につながるものと考えています。

入り口

深い関係性

## 探検・発見



高知らしい旅を  
見つけた・気付いた・感動した

## どっぷり体験



高知らしい旅を  
体験した・  
新しい休日新しい自分になる

## どハマリ



高知らしい旅で  
高知らしい人や高知らしい自然  
との付き合い方が分かってどハマリ

## どっぷり高知旅 コンテンツの具体的なイメージ

## 具体例Ⅰ.ど級の自然



景観をさっと見るだけではなく、その景色を生み出した背景や歴史、息づく文化なども含めてより深く楽しんでいただきます。



→例えば、清流を生み出すカルストなどの地質や、沈下橋がなぜ生まれたか、実際に生活の中でどう使われているかを解説などを通じて知ってもらったり、見るだけでなく、体を横たえて温度や風を感じたり、五感を使って体感する方法など、よりじっくり、深く、たっぷり楽しんでいただける工夫やアクションが考えられます。

## 具体例Ⅱ.ど級の食



美味しさや新鮮さだけでなく、作り手のこだわりや、他の地域にない独自性、受け継がれてきた伝統といった情報なども提供します。



→高知には山、川、海それぞれの恵みが育んだ食の魅力が数多くありますが。それぞれが工夫を凝らす少量多品種のトマトや地元伝統の寿司、蔵元同士で情報共有して金賞を多数受賞している日本酒など、作り手の様々なこだわりや工夫があります。時には作る工程を生産者と一緒に体験いただくなどしながら、そうした魅力をしっかりと伝えていきます。

## 具体例Ⅲ.ど級の歴史・文化



坂本龍馬や牧野富太郎博士などをはじめ、神祭なども含めた歴史や、おきゃくやマンガなど本県ならではの文化を楽しんでいただきます。



→歴史・文化施設はもとより、地域ならではの歴史や文化の魅力は県内に様々な形で息づいています。地元でも気づきづらいそうした魅力を再認識し、県外の方に体験できるように工夫していきます。

## 具体例Ⅳ.ど級の人



本県ならではの大きな特徴であり、魅力である高知の「人とのコミュニケーション」の機会を創出します。



→リアルなコミュニケーション、本物の交流はスーパーローカルの大事な要素。少しだけ話しかけてみる、土佐弁を使ってみるといったことも大切なアクションだと考えています。そして例えば、街路市は自然にコミュニケーションが生まれる場。様々な工夫、そして紹介の仕方などでコミュニケーションができる機会を提供できればと思っています。そしてまた会いに来たいと思ってもらえるアクションもぜひ行えたらと考えています。

# どっぷり旅コンテンツとするためのヒント

## ☆実際に、県内のコンテンツでどっぷり旅に向けた工夫（アクション）がされている事例

### ① 地域の人とのコミュニケーションの機会を提供

→ガイドがいる、現地（近所の人、本物の漁師）の人との会話、地域の人とおしゃく、伝承に向けた努力や思いを伝えるなど

### ② リピートを意識

→季節ごとの楽しめる要素を整理し提供、二拠点居住や移住を意識した関係づくりなど

### ③ 地元の日常の暮らしや楽しさを伝える

→地元の人を楽しんでいるマイナースポット、生活市、地域のお祭りへの参加など

### ④ 特徴が生まれた背景の説明

→歴史・地形・文化などで、なぜそれが生まれたかを説明。漁師体験の前にその場所の生態系が魚が豊富な理由を山や川の地形から説明、今はなき昔の情景をイメージできるよう補足するなど

### ⑤ 体験をさらに楽しめる工夫

→体験で取った魚を食べられるようにする、体験で作った料理を講師と食べる、自然の豊かさも含めて学ぶなど

### ⑥ 気軽に体験できる配慮

→初心者を対象としたメニューの準備、ギリギリまで予約可能にする、安全装備や長靴のレンタル、雨の場合の代替案の準備など

### ⑦ 泊まる楽しみを加える

→前日に設置した漁のしかけを翌日回収、美味しい居酒屋やモーニング情報や魅力あるスナック情報の提供など

### ⑧ そこでしかないことを提供・PR

→機関車を実際に運転ができるようにする、ほかにはない植生のPR、地元産の木だけで建てていることをPRするなど

### ⑨ 食も楽しめる工夫を加える

→一連の体験工程に食事を追加、地元産の食材で作ったものを提供、地元独特の野菜、食べ方を伝えるなど

### ⑩ 土佐弁を意識する

→ざっくばらんな会話も含めて土佐弁を楽しんでいただける工夫を行うなど

- ☆ **高知ならではのスーパーローカル**さは、ちょっとしたおもてなしや土佐弁で話しかけるといった、**コミュニケーションからも生み出されます**。  
そして高知らしいスーパーローカルな**素材は、中山間地域をはじめ、本県のあらゆるところに存在**します。  
その意味では、**高知に関係するすべての方が、このキャンペーンの主人公**だと考えています。
- ☆そして地元の素材を**再発見・新発見**すること、そして**よりどっぷり体験**いただける**コンテンツ**とするには、**腰を据えた取組が必要**なものもあるはずです。
- ☆こうした考え方のもと、R 6年度からの4年間を対象期間とし、オール高知でキャンペーンを展開することで、**本県がさらにじっくり過ごしたくなる、何度も行きたくなる県**となることを目指して取組を進めていきます。



**どっぷり高知旅**  
SUPER LOCAL KOCHI

